

令和6年度分 発達に関する相談支援事業 自己評価結果

(事業所名) 子ども発達総合支援センター

(公表日) 令和7年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
家族の本人のニーズ等の把握	1	こどもやその家族の意思を尊重し、常に確認して支援している。	○		予約の段階で、こどもや家族の意思の尊重と確認をしっかりと行えるよう、正確な聴き取りに努めています。
	2	こどもやその家族が置かれている環境及び生活行動を確認している。	○		こどもや家族の生活環境や生活行動を丁寧に聞き取るとともに、必要に応じて園や学校での観察も行い、状況を確認しています。
	3	こどもが抱える課題や家族の支援ニーズを把握している。	○		こどもや家族の生活環境や生活行動を丁寧に聞き取るとともに、必要に応じて園や学校での観察も行い、状況を確認しています。
	4	こどもやその家族等にかかる心身の状態を把握している。	○		こどもや家族だけでなく、関係機関から幅広く情報を収集するよう努めています。
本人の主訴	5	こどもの主訴を把握している。	○		対象となるこどもが小さい場合、保護者の主訴が中心となることもあり、また保護者のみでの相談は園や学校での姿が十分把握されていない場合もあるため、保護者との相談後に事後フォローを重ねながら、主訴の把握に努めています。また、こども本人だけでなく、保護者や関係機関からも幅広く情報を収集する一方、保護者や教員からの聴き取りだけに頼らず、行動観察を実施しています。
	6	主訴に関するアセスメントを行い対応している。	○		発達検査や知能検査を実施し、行動観察を含めた多角的なアセスメントを行っています。また観察結果、検査結果、過去の記録を併せて分析し、包括的な対応を図っています。
支援記録の活用と管理	7	支援の進捗状況を把握し、支援記録を整理・保管している。	○		個別に作成したシスホルダーに、各個人の支援内容等情報をまとめ、誰もが対応できるようにしています。
	8	支援記録を活用し対応している。	○		個別に作成されたシスホルダーに相談内容等の記録を集約し、行動観察時や発達検査時に各担当者が記録を確認しやすくすることで、スムーズな対応と情報共有を図っています。
	9	個人情報の管理を徹底している。	○		個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。
関係機関との連携協働	10	関係機関へのつながりは、相談者本人の同意を得ている。	○		相談者に伝え方も確認し、同意を得たうえで、関係機関に繋いでいます。
	11	関係機関との連携協働及び情報共有を実施している。	○		必要に応じて、関係機関と同行訪問し、情報を得ています。市の福祉まるごと相談室や県の中央児童相談所と連携したケースがあります。
	12	こどもが通園通学している保育園、幼稚園及び小中学校等に訪問して、必要とする相談支援を行っている。	○		必要に応じて、子どもの様子を訪問し確認しています。園からの依頼により巡回相談を、児童生徒には育ちネットワーク相談のほか、保護者や学校からの依頼により観察に向き、学校と一緒にこどもの支援について考えるようにしています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	13	個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成活用を図るため、市教育委員会等関係機関との連携協働に努めている。	○		個別の教育支援計画・指導計画に、相談時や訪問時に把握したこどもの様子や支援を例として記し、担任教諭が作成しやすくなるように支援しています。また、当計画をもとに、保護者との懇談、次年度への引継ぎができるよう助言しています。
資質向上	14	支援に関わる関係機関の職員について、専門性を高めるため、研修講座の開催や、当センター職員の派遣を行っている。	○		参加しやすい日時設定を工夫し、現場職員のニーズに基づいた内容を提供できるよう努めています。特別支援教育に携わる教員等を対象に、研修講座(4回構成)を開催し、松阪あゆみ特別支援学校との共催や、療育支援系の保育所等訪問支援事業について当センターの作業療法士が講師となるなど、両係が連携し、効率的な運営と専門性の幅を広げる取り組みを実施しました。
	15	必要に応じて、関係機関の研修事業や、外部講師を招いた勉強会などに参加し、支援の質的向上を図っている。	○		保育支援委員会や教育支援委員会、県教委や特総研等、内外を問わず、関係機関の実施する研修に参加しています。また、当センターに外部講師を招いた研修を実施する場合は、両係が参加できるような日程を調整し、支援の質の向上に努めています。
施設運営	16	支援センターの事業運営に関する会議に参加している。	○		役職者会議や職種別会議、係内会議を定期的に行い、各職責に応じた会議に参加することで、センターの事業運営や状況に共通理が図れるよう努めています。
	17	施設設備、各種備品の状態を常に確認し、安全確保に努めている。	○		使用前には備品や設備の確認を行い、破損や老朽化による危険箇所がないか、安全確認を行っています。